

# 野村DCグローバルAI関連株式ファンド

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第1期(決算日2025年11月14日)

作成対象期間(2025年9月8日～2025年11月14日)

第1期末(2025年11月14日)	
基準価額	10,659円
純資産総額	1百万円
第1期	
騰落率	6.7%
分配金(税込み)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI(人工知能)技術関連の株式(DR(預託証券)を含みます。)に実質的に投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

**0120-753104** (受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

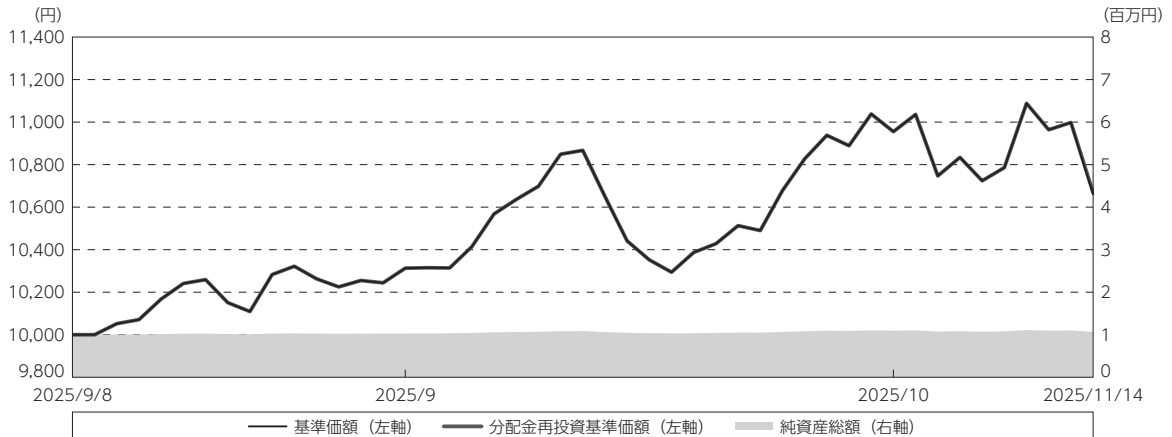
●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2025年9月8日～2025年11月14日)



設定日：10,000円

期 末：10,659円 (既払分配金(税込み)：10円)

騰落率： 6.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

## (上昇要因)

- ・保有銘柄のうち、生成AIの扱うデータ量が増加することに伴い、データを保存するためのHDD（ハードディスクドライブ）への需要が拡大する期待が高まった、米国のコンピュータ・周辺機器株などが上昇したこと
- ・9月にFRB（米連邦準備制度理事会）が利下げを実施したこと
- ・10月に米国の大手半導体企業とAI関連企業によるAIインフラ構築に関する契約締結が好感されたこと
- ・期を通じて米ドルに対して円安が進行したこと

## (下落要因)

- ・保有銘柄のうち、発表したM&Aに対する投資回収への懸念が生じた米国の航空宇宙・防衛株などが下落したこと
- ・10月に米中関係悪化への懸念が高まったこと

## 1 万口当たりの費用明細

(2025年9月8日～2025年11月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 21	% 0.201	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(12)	(0.113)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	( 9)	(0.082)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	( 1)	(0.006)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	2	0.016	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	( 2)	(0.016)	
(c) その他費用	1	0.005	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.222	
期中の平均基準価額は、10,634円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

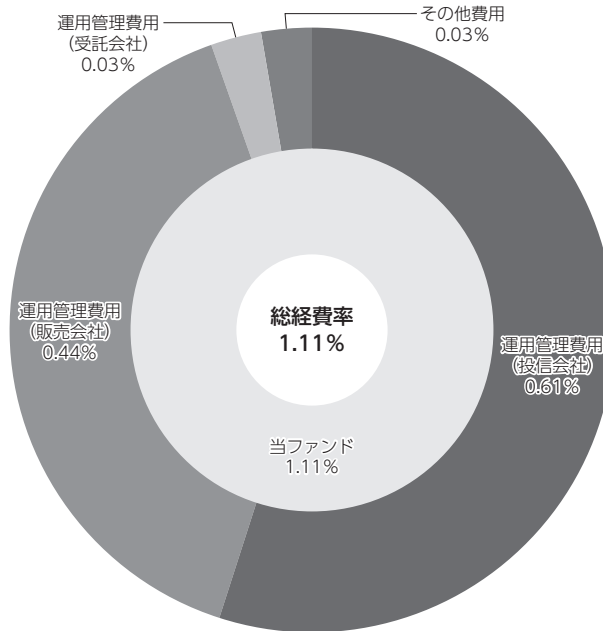
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年11月16日～2025年11月14日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。  
(注) 当ファンドの設定日は2025年9月8日です。

	2025年9月8日 設定日	2025年11月14日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,659
期間分配金合計(税込み) (円)	—	10
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.7
純資産総額 (百万円)	1	1

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年11月14日の騰落率は設定当初との比較です。  
(注) 値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

**投資環境**

(2025年9月8日～2025年11月14日)

世界の株式市場は、9月にFRBが利下げを実施したことなどから上昇して始まり、その後も大手半導体企業とAI関連企業によるAIインフラ構築に関する契約締結が好感されたことなどから続伸しました。10月中旬には、トランプ米大統領が中国に対して関税の引き上げや、大規模な輸出規制を発表したことなどにより米中関係悪化への懸念が高まり下落しましたが、その後米大手IT企業を中心とした堅調な決算発表などが好感され上昇し、当期において世界の株式市場は上昇しました。

為替市場については、米ドルに対して円安となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2025年9月8日～2025年11月14日)

**当ファンド**

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

**マザーファンド**

[野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド]

**・期中の主な動き**

- (1) 当ファンドでは、世界各国の株式の中から、「IT関連」、「産業関連」、「医療・ヘルスケア関連」等の分野を中心に高度なAI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないました。結果、AIの活用拡大により中長期で成長が期待される情報技術セクターなどの投資比率を高めました。
- (2) 銘柄につきましては、多数のサーバーを高速接続するための通信機器の需要拡大により、中長期的な成長が期待できると判断した米国の通信機器株や、公共の安全確保や人権意識の高まりによる攻撃性を弱めた自衛機器への需要拡大や、警察などへの業務効率化ソフトウェアの需要拡大を背景に中長期的な成長が期待できると判断した米国の航空宇宙・防衛株などを買い付けしました。一方、保険料を大幅に引き上げた反動により業績成長の鈍化傾向が継続すると判断した米国の保険株や、取り扱いの難しいバイオ医薬品などの配送需要の高まりやAIを活用した受発注業務の効率化などによる業績拡大が一定程度株価に織り込まれたと判断した米国のヘルスケア・プロバイダー／ヘルスケア・サービス株などについては売却を行ないました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2025年9月8日～2025年11月14日)

値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

**分配金**

(2025年9月8日～2025年11月14日)

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきます。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	2025年9月8日～2025年11月14日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.094%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	659

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****当ファンド**

マザーファンドを高位に組み入れます。

**マザーファンド****・投資環境**

米国経済は、労働市場の弱さは見られるものの底堅く推移しています。雇用サービス会社のADPが公表する2025年9月の民間雇用者数は前月差-2.9万人と、8月(同-0.3万人)に続き、2ヵ月連続で減少しましたが、10月は+4.2万人となりました。アトランタ連銀のGDP(国内総生産)予想では、7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+4.0%(11/5時点)と推計されています。物価面では、9月のCPI(消費者物価指数)が前年同月比+3.0%(8月同+2.9%)と小幅ですが加速しています。10月のFOMC(米連邦公開市場委員会)では、0.25%の利下げが決定されましたが、雇用の下振れリスクと物価の上振れリスクのどちらを重視するのかは意見が分かれており、今後の金融政策の不確実性は高く注視が必要です。

**・運用方針**

当ファンドでは、世界各国の株式の中から、AI先端技術の研究成果に着目し、AIの活用、実用化によって恩恵を受け、高い成長が期待される企業等に投資を行ないます。

株式市場では、短期的にはトランプ米政権による関税政策や税制改革など、今後の景気見通しや金融政策、企業業績に及ぼす影響を注視しています。しかし、中長期的な視点では、多くの企業がAI技術の導入に言及するなど、幅広い業種でAI技術の活用による生産性向上が期待されます。AI関連などの高成長が期待される分野への注目は引き続き高く、各分野での勝ち組企業がより強くなるという傾向がみられます。加えて、AIを活用したビジネス領域はますます拡大しており、情報技術だけでなく幅広い対象セクターから成長銘柄へ投資を行なってまいります。

# お知らせ

該当事項はございません。

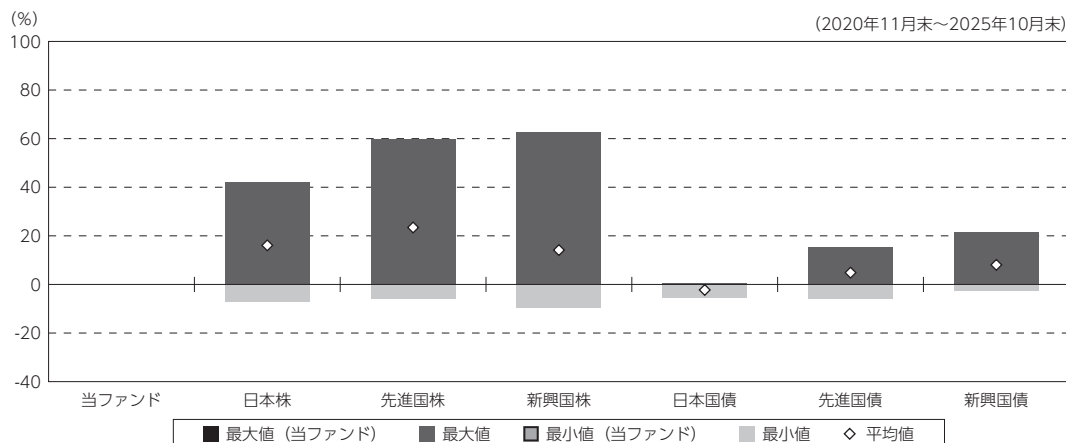
## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2025年9月8日以降、無期限とします。	
運 用 方 針	野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。	
主要投資対象	野村DCグローバルAI関連株式ファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として新興国を含む世界各国のAI（人工知能）技術関連の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	—	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 2.7
平均値	—	16.1	23.4	14.1	△ 2.3	4.8	8.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年11月から2025年10月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

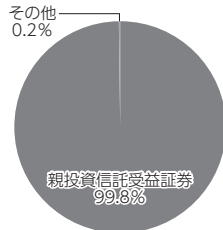
## 組入資産の内容

(2025年11月14日現在)

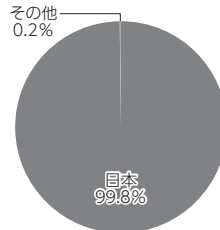
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド	%
組入銘柄数	99.8
	1銘柄

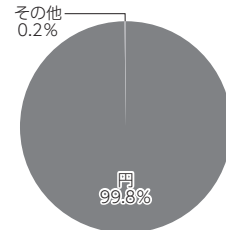
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第1期末
	2025年11月14日
純資産総額	1,065,930円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり基準価額	10,659円

(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

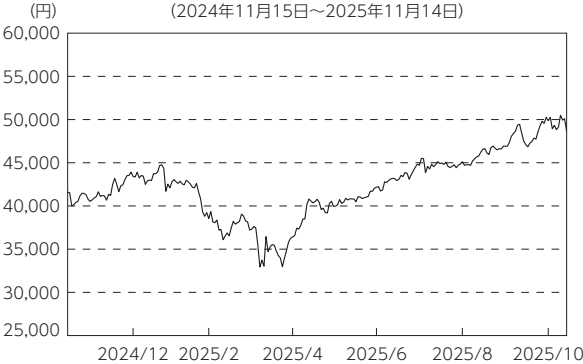
組入上位ファンドの概要

野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2024年11月15日～2025年11月14日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年11月15日～2025年11月14日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式 )	23 (23)	0.055 (0.055)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	2 ( 2 )	0.004 (0.004)
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)
合 計	25	0.060

期中の平均基準価額は、42,371円です。

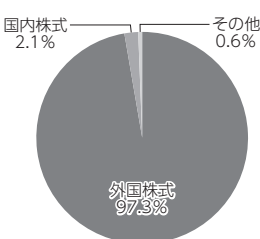
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。  
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

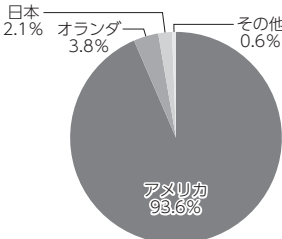
(2025年11月14日現在)

銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比率
				%
1 PROGRESSIVE CO	保険	米ドル	アメリカ	8.4
2 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	8.2
3 BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	7.8
4 TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	資本市場	米ドル	アメリカ	4.1
5 OREILLY AUTOMOTIVE INC,	専門小売り	米ドル	アメリカ	4.1
6 COHERENT CORP	電子装置・機器・部品	米ドル	アメリカ	3.9
7 ASML HOLDING NV	半導体・半導体製造装置	ユーロ	オランダ	3.8
8 TRADE DESK INC/THE -CLASS A	メディア	米ドル	アメリカ	3.6
9 MICRON TECHNOLOGY	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.5
10 ARISTA NETWORKS INC	通信機器	米ドル	アメリカ	3.4
組入銘柄数		45銘柄		

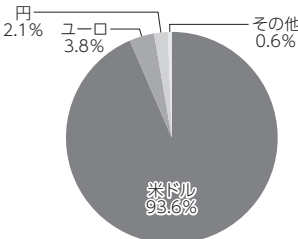
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
(注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。  
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

配当込みTOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

### ○MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行なわれる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行なう際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）